

## 平成 22 年度エネルギー使用量等について

## 1 エネルギー使用量削減の取り組みについて

## (1) 目標値について

第 3 次新宿区庁内地球温暖化対策実行計画(平成 19～22 年度)に基づき、22 年度は、平成 17 年度の実績値から 1.5%削減を目標値とした。

## (2) 使用量増減にかかる主な要因

エネルギー使用量の増減の主な要因は、以下のとおり。

- ① 職員の省エネ活動による削減
- ② 平成 18 年度以降の施設開館時間の延長、新施設の開設等による増加
- ③ 気象条件による増加・減少

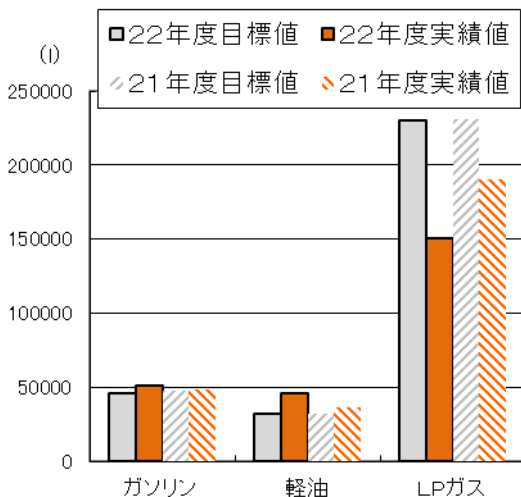
電気及びガス使用量は、気温変化に伴う空調設備の稼働状況により増加・減少する。

21 年度は梅雨明けが遅れ、夏期期間は低温だったが、22 年度は猛暑により気温が上昇した。

※参考 各年度の 8 月の平均気温 (区役所本庁舎常時監視測定局測定データから)

	17 年度	21 年度	22 年度
8 月平均気温	28.5℃	26.9℃	30.2℃

## 2. 庁有車燃料使用量について



## ○ガソリン

達成状況…目標未達成 (目標値を 10.6%超過)

主な要因…使用量全体の約 35%を占める環境清掃部の小型清掃車両の稼働率の増加。

※狭小路地でのゴミ回収の増加に伴い、使用量が増加している。

## ○軽油

達成状況…目標未達成 (目標値を 42.3%超過)

主な要因…増車。22 年度から新たに 4 台ハイブリッド型清掃車両が、LP ガス車に代わり導入された。

## ○LP ガス

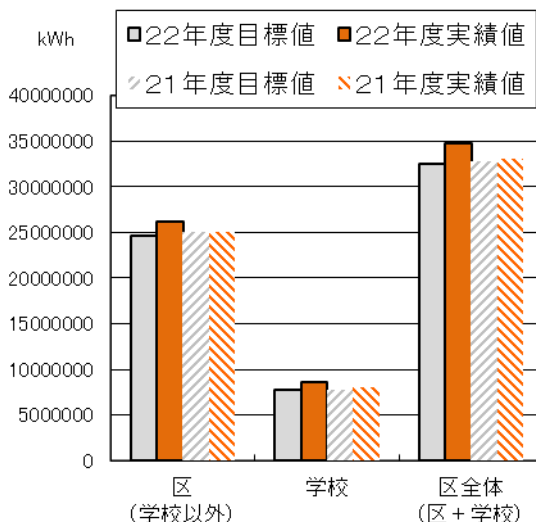
達成状況…目標達成 (目標値を 34.6%下回る)

主な要因…減車。ガソリン・軽油の清掃車両の使用率が上がった分、LP ガスの清掃車両の使用が減少している。

※清掃車両では、燃費向上及び CO<sub>2</sub> 排出量削減のため、LP ガス車からディーゼル車(ハイブリッド含む)へ転換が進められている。

## 3. 電気、ガス、水の使用量について

## ○電気



## 達成状況

目標未達成

区 (目標値を 5.8%超過)

学校 (目標値を 10.1%超過)

全体 (目標値を 6.9%超過)

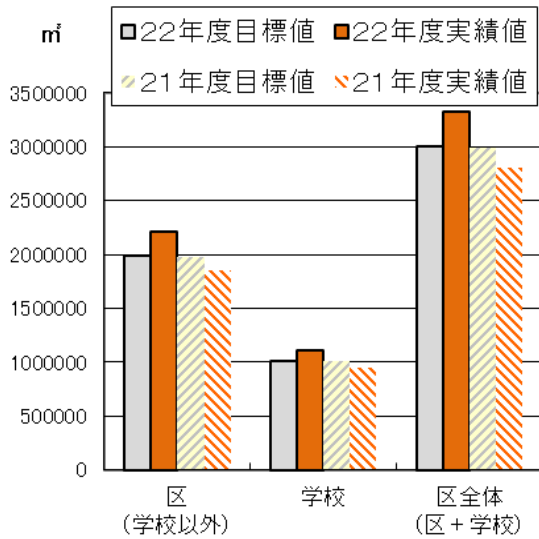
主な要因

○猛暑による空調の使用が高まった。

○学校：特別教室への空調の設置、教員用パソコンの増設により、使用量が増加。

※17 年度との比較においては、図書館等の開館時間延長や、第二分庁舎分館の供用開始が増加の一因として挙げられる。

○ガス



達成状況

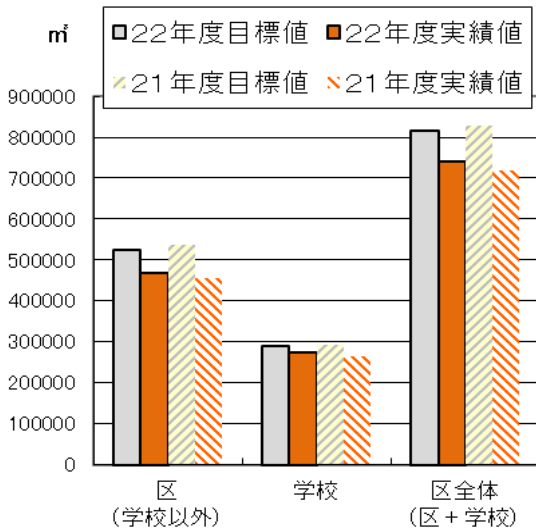
目標未達成

- 区 (目標値を 11.2%超過)
- 学校 (目標値を 9.7%超過)
- 全体 (目標値を 10.7%超過)

主な要因

- 猛暑による空調使用の増加
- ※22年度は猛暑のため、21年度より使用量が増加している。
- ※17年度との比較においては、図書館等の開館時間延長や第二分庁舎分館の供用開始が、増加の一因として挙げられる。
- ※なお、ガス使用量の大部分は空調用である。  
(例:第二分庁舎では使用ガスの約90%が空調用)

○水使用量



達成状況

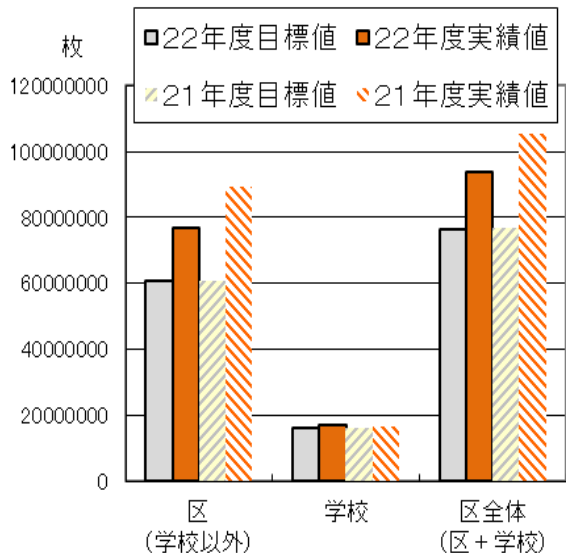
目標達成

- 区 (目標値を 11.0%下回る)
- 学校 (目標値を 6.3%下回る)
- 全体 (目標値を 9.3%下回る)

主な要因

- 22年度は、猛暑に伴い水遊び、植物への水やりなどで使用量が増加したが、節水コマの導入(21年度:1300個・22年度:600個を配布)等により、使用量が抑制され、目標は達成されている。

4. 紙の使用量について



達成状況

目標未達成

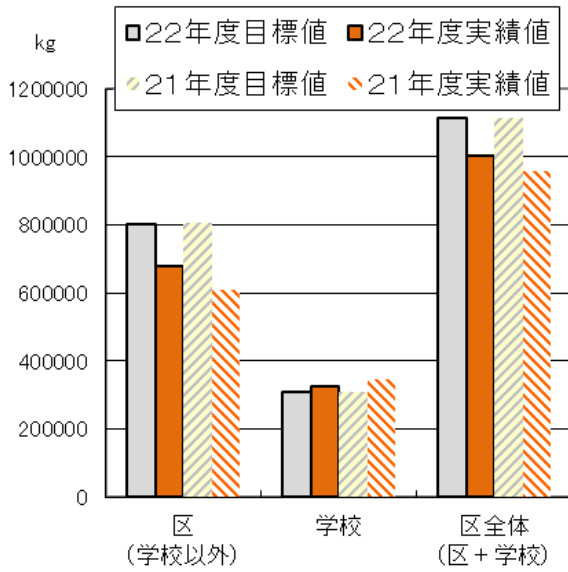
- 区 (目標値を 27.0%超過)
- 学校 (目標値を 7.2%超過)
- 全体 (目標値を 22.9%超過)

主な要因

- 新規事業などに伴い、印刷物が増加している。
- 地域文化部:国勢調査に伴う増加。
- 健康部:住民に周知するチラシ等が増加。
- 選挙管理委員会事務局:選挙が複数回あったことにより増加。

## 5. 廃棄物排出量について

○廃棄物排出量（可燃＋不燃）



達成状況

区・全体は目標達成

学校は目標未達成

区（目標値を 15.8%下回る）

学校（目標値を 5.3%超過）

全体（目標値を 9.9%下回る）

主な要因

減少要因

○教育委員会事務局：図書館での文書整理・リサイクルの推進。

○地域文化部：削減努力。

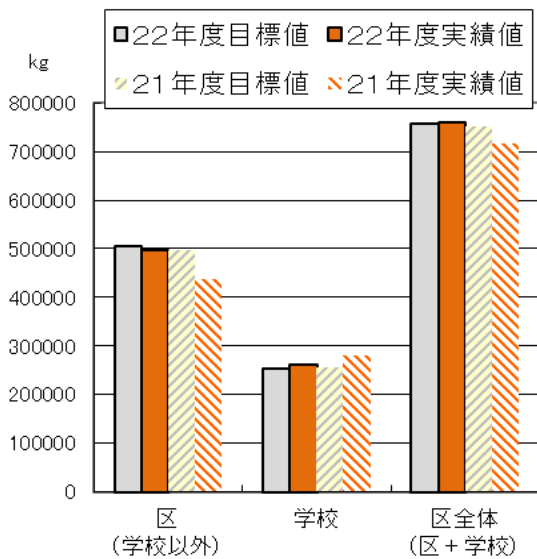
（例：地域センターにおけるごみ分別・持ち帰りの徹底）

増加要因

○学校：西戸山中学校と西戸山第二中学校の統合による不用品の廃棄。

※17年度と現在は廃棄物の分別方法が異なるため、可燃ゴミと不燃ゴミは一方が増えれば、他方が減るという関係にあるため、可燃・不燃の合計量も併せて評価する。

○廃棄物排出量（可燃）



○廃棄物排出量（不燃）

